



本学では、教育研究活動中の不慮の災害事故補償及び通学中と学校施設等相互間の移動中の事故補償のために、学部在籍する全学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険」に一括して加入しています。保険事故に該当すると思われる方は、保険会社へ事故通知を行ってください。学研災LINEアカウントを用いて簡単に行うことができます。

事故通知用LINE
QRコード



補償範囲と通院日数

補償範囲	治療日数 ※
正課中、大学行事中の怪我	1日以上が対象
大学施設内（課外活動を除く）、通学中、大学施設設置等相互間の移動中の怪我	4日以上が対象
大学施設内外で大学に届け出た課外活動中の怪我	14日以上が対象

※実治療日数（実際に入院または通院した日数）です。治療期間の全日数が対象とはなりません。また、傷害保険ですので、一般の病気はこの保険の補償対象ではありません。

問い合わせ先

区分	担当窓口
校友会所属部会の課外活動中	校友会事務室
上記以外全て	学生生活課（多摩）

Q&A

学研災の対象となり、保険金請求に必要な治療日数を要する場合は、学内申請窓口へ申し出てください。

- Q** 体育の授業中にケガをした。

A 学研災の対象です。治療日数1日から保険金支払いの対象となります。
- Q** 徒歩で通学中に、道路の段差で躓き、ケガをした。

A 学研災の対象です。治療日数4日以上から保険金支払いの対象となります。
- Q** 学内の階段から転落し、足を骨折した。

A 学研災の対象です。治療日数4日以上から保険金支払いの対象となります。
- Q** 学内のサッカー場で、サッカー部（公認団体）の練習中に、相手と接触し足をねん挫した。

A 学研災の対象です。治療日数14日以上から保険金支払いの対象となります。
- Q** 学外の施設で、柔道部（公認団体）の試合中に、相手に投げられた衝撃で肩を脱臼した。

A 学研災の対象です。治療日数14日以上から保険金支払いの対象となります。
- Q** 学内の一般フィールドAで、友人とソフトボールをしていたら、ボールが顔面に当たり打撲した。

A 学研災の対象です。治療日数4日以上から保険金支払いの対象となります。
- Q** 学内の体育館で、バドミントンサークル（非公認団体）の活動中に、ケガをした。

A 学研災の対象です。治療日数4日以上から保険金支払いの対象となります。
- Q** 学外の体育館で、バレーボールサークル（非公認団体）の活動中に、着地の際にチームメイトの足の甲に乗りねん挫した。

A 学研災の対象外です。
- Q** 親睦を目的とした私的なゼミ合宿・旅行中にケガをした。

A 学研災の対象外です。

その他の保険等

保険

学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

学生が正課中、学校行事中、課外活動中（学校が禁じているもの等は除きます）及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険です。

問い合わせ先

区分	担当窓口
インターンシップ	キャリアセンター
教育実習	教職事務室

「学研災付帯学生生活総合保険」「中央大学学生総合補償制度」「中央大学生協・キャンパス共済」

任意加入の保険です。「学生教育研究災害傷害保険」が教育研究活動中および通学中・学校施設等相互間の移動中の大学生活を対象とする保険であるのに対して、日常生活および賠償責任も補償対象とします。

問い合わせ先

学研災付帯学生生活総合保険	学生生活課（042-674-3471）
中央大学学生総合補償制度	エクステンションセンター事務室（042-674-2351）
中央大学生協・キャンパス共済	生協事務室 生協共済・保険係（042-674-3030）※加入申込は4月のみ

中央大学学生の医療費援助

正課授業（実験・実習・実技等を含む）中に発生した事故により障害等を負った学生に対して、その程度が保健センターでの応急措置の範囲を超え医師の診断治療を要する場合に、その医療費の援助を受けることができます。

奨学金



(大学公式Web)

本学では、多彩な奨学金制度を用意して皆さんの学生生活をバックアップしています。

ぜひ奨学金を有効に活用して、実りあるキャンパスライフを送ってください。

各種奨学金については大学公式Webサイト（ホーム＞学生サポート＞奨学金）をご覧ください。

また、詳細については、各取扱窓口へお問い合わせください。

奨学金の種類	取扱窓口
中央大学学長賞・学部長賞給付奨学金	各学部事務室 茗荷谷スチューデントハブ（法学部）
中央大学学部生給付奨学金	
中央大学指定試験奨学金	
中央大学国外・外国人留学生奨学金	国際センター
中央大学経済援助給付奨学金（所得条件型）	奨学課（経済・商・文・総合政策・国際経営学部/多摩キャンパス） 都心学生生活課（後楽園担当）（理工学部/後楽園キャンパス）
中央大学経済援助給付奨学金（緊急・応急）	
中央大学文化・スポーツ活動等奨励給付奨学金	茗荷谷スチューデントハブ（法学部/茗荷谷キャンパス） 都心学生生活課（市ヶ谷田町担当）（国際情報学部/ 市ヶ谷田町キャンパス）
日本学生支援機構奨学金	
民間・地方公共団体等奨学金	

家計が急変した方へ

ご父母等家計支持者の失職、破産、事故、病気、死亡等もしくは火災、風水害等の災害等により、家計が急変した方は、各取扱窓口にご相談ください。



大学生活の中で、様々な悩みが出てくるのは普通のことです。

「自分ひとりではどうにもならない時」「わかっていても行動できない時」「どこに相談してよいかわからない時」などに人と話してみることで、考えの整理ができたり、気持ちが楽になることがあります。

専門相談員(心理カウンセラー、精神科医、弁護士)と関係部署の教職員が、あなたの悩みや不安について一緒に考えます。

大切なあなたのために、一人で悩まないで、気軽に学生相談室を訪ねてください。

【相談内容】

あらゆる相談を受け付けています。学業、就職、進学、留学、心身の健康、性格・心理、恋愛、対人関係、友人の様子、サークル、生活全般、トラブル、その他どんなことでもかまいません。

相談内容やプライバシーに関する守秘義務は厳守していますのでご安心ください。ただし、生命に関わる場合はこの限りではありません。

【学生相談室の場所と時間】

キャンパス	場 所	開 室 時 間
多摩キャンパス	5号館地下1階 042-674-3481	(月)～(金) 10:00～17:00
後樂園キャンパス	1号館1階 03-3817-1724	(月)～(金) 10:00～17:00
市ヶ谷田町キャンパス	1階 03-3817-1724	(火) 11:00～15:00 (金) 10:00～14:00
茗荷谷キャンパス	4階 03-5978-4222	(月)～(金) 10:00～17:00

【利用のしかた】

- ・直接に来室または電話でまずはご連絡ください。
- ・お問い合わせフォームからのご予約も可能です。
- ・友人やご家族の方と一緒に来ていただいても大丈夫です。

【相談員】

学生相談室スタッフが初回面談を行い、必要に応じて相談員を紹介します。

教職員（履修、資格試験、進路、留学など）	多摩28名／後樂園6名／市ヶ谷田町3名／茗荷谷4名
嘱託精神科医	多摩 5名／後樂園2名／茗荷谷2名
嘱託心理カウンセラー	多摩 5名／後樂園3名／市ヶ谷田町2名／茗荷谷3名
嘱託弁護士	多摩 1名

【相談室の行事】

個人相談の他に、年間を通してランチdeおしゃべり、農作業体験など、様々なイベントを行っています。(P.57参照)

詳細は大学公式Webサイト等で随時お知らせします。

【サロン】(多摩キャンパスのみ)

談話や休憩できるスペースがあります。どなたでも利用できます。

ダイバーシティ（多様な学生の理解と支援）



(大学公式Web) (政府広報オンライン)

大学は多様な人が共生しています

中央大学は、障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、民族、言語、信念、宗教など多様な背景をもつあらゆる人びとの人権を尊重することを約束しています。どの人がどんな背景をもっているかは見かけだけで判断することはできませんし、思い込みが無意識の偏見につながることもあります。理解や支援のためには、知識をつけること、対話をする、行動することが重要です。すでに多様な人がともに生活しているこのキャンパスを、より一層安心・安全な場にしていきましょう。

身体障害について

視覚障害：学内に敷設してある点字ブロックの上で立ち話や作業をしないように、また、物を置かないように配慮しましょう。

聴覚障害：話しかけるときは、自分が話すことがわかるように意思表示をし、口を大きく開けて話しましょう。複数人で話すときは、一斉に話すことは避けてください。筆談やアプリを用いた会話を提案することもできます。

肢体不自由：車椅子や福祉器具等を使用している方が移動しやすいよう道や席を空けるようにしましょう。特に優先エレベーター表示のあるエレベーターでは順番を譲るなどの配慮をしてください。段差や傾斜がある場合には、声をかけて手伝う必要があるか確認してください。

身体障害に関わる支援はダイバーシティセンターにご相談ください。

発達障害について

発達障害は、注意力やスケジュール管理、読み書き、コミュニケーション等の能力に偏りがあるため生活上の困難を生じる病態で、自閉スペクトラム症（ASD）や注意欠如・多動症（ADHD）などが含まれます。多くの人には簡単にできることが、自分には難しいといった場合は、発達障害の可能性がります。こういった特徴はその人らしい創造性などプラスの面に関連していることもあります。発達障害にかかわる支援は学生相談室・所属学部事務室にご相談ください。

スチューデント・アシスタント（学生支援スタッフ）を募集しています

中央大学では、障害の有無に関わらず学べるように合理的配慮を提供しています。その中には学生の皆さんが支援スタッフ（アルバイト）として活動するものもあります。実際に活動する前には講習会もありますので、経験がなくても大丈夫です。関心のある方はダイバーシティセンターまでご連絡ください。

ジェンダー・セクシュアリティについて

性的指向（恋愛や性愛の対象となる性）や性自認（自分の性別をどのように認識するか）は人それぞれです。当然、性的指向が異性ではない人や、性自認が出生時の身体の性をもとに割り当てられた性と異なる人などもいます。もし誰かからそのことをカミングアウト（本人の意思で打ち明けること）された場合には、話してくれたことを受け止め、対話を試みましょう。アウトティング（本人の同意なく言いふらすこと）は絶対にしないでください。性別に違和感がある学生への支援として、通称名の使用や健康診断の個別受診などを利用できる場合があります。学生生活における支援や悩みごとについてはダイバーシティセンターにご相談ください。

多文化共生について

留学生はもちろん、日本で生まれ育った人の中にも、様々なルーツをもつ人がいます。見た目「外国人」「日本人」と決め付けたり、その場に「日本人」しかない前提で話したりすることはやめましょう。住民票に記載されている通称名がある場合、その名前を使用することもできます。学生生活における支援や悩みごとについてはダイバーシティセンターや国際センターに相談してください。



「ボランティアセンター」では、専門のコーディネーターが常駐して、ボランティア活動をしたい学生のサポートを行っています。環境、国際、子ども、福祉、被災地支援活動など、様々なボランティア活動を通して、より多くの学生が多様な社会課題と向き合うことを支援しています。

【ボランティアセンターを活用してできること】

参加する

◎ボランティアセンターが主催・紹介する活動

- ・復興支援ボランティア
※実績例：福島県双葉郡大熊町での春ボラ、宮城県丸森町での冬ボラ、能登地方でのボランティア
- ・キャンパス周辺地域でのボランティア
※実績例：農作業、子ども食堂、学習支援、実験教室
- ・学内ボランティア
※実績例：ゴミ拾い、空きコマボランティア
- ・学生スタッフ…ボランティアの楽しさを学生目線で学生へ伝えたり、コーディネーターとともに活動を企画・運営したりしています。

◎ボランティアセンター公認学生団体の活動

- ・面瀬学習支援…宮城県気仙沼市面瀬地区での子ども学習支援
- ・チーム防災…地域や子ども達と防災啓発活動
- ・りこボラ！…後楽園キャンパス周辺でのボランティアの企画運営

学ぶ

初めての方から経験者まで、社会課題を考えたり、ボランティアに役立つ講座やイベントを実施したりしています。

※実績例：連続ボランティア講座、振り返りワークショップ、傾聴コミュニケーション講座、ファシリテーション講座

探す

自分の興味・関心にあうボランティア情報を紹介してもらったり、情報を得たりすることができます。ボランティアセンターは、多摩と茗荷谷のキャンパスにあります。

・メールマガジンに登録しよう！学内外のボランティア情報をいち早くお届けします。



【ボランティアセンター紹介冊子】



学生部のイベント

学生部では、学部学生を対象としたさまざまなイベントを用意し、皆さんの参加をお待ちしています。開催の案内や申込方法はmanaba「学生部からのお知らせ」のコースニュースや学生部掲示板等で随時お知らせします。

	企画	スケジュール	企画概要
安全	交通事故防止キャンペーン (多摩)	年2回 (5月・9月)	自転車・バイク通学者を対象に車両の無料安全点検を実施
	災害救援ボランティア講座 (茗荷谷)	年1回(8月)	実践的な防災の基礎知識と救命技能を学ぶ
	AED講習会 (多摩)	年2回 (6月・10月)	AEDの使用を含む心肺蘇生法に関する正しい知識と急病人への対処方法について学ぶ
社会	文章力向上講座 (茗荷谷)	年1回(前期または後期)	自らの経験や思いを文章にして読み手に伝えるためのスキルの向上をめざす
	食育/野菜充足度チェック (多摩・後楽園・市ヶ谷田町)	【多摩】 年1回(後期) 【後楽園・市ヶ谷田町】 年2回(夏・冬)	野菜摂取の状況を数値で把握して食生活の改善につなげる
芸術・ 芸能	芸術鑑賞(ミュージカル)	年2回(9月・2月)	芸術に触れる機会を提供する
	学生手帳表紙デザイン募集	年1回 (7月～9月)	学生部が発行する学生手帳の表紙デザインを募集する
	ピアノ自由演奏(多摩・後楽園)	年1回(5月)	文化活動発露の場を提供する
生活	ランチ de おしゃべり (多摩・茗荷谷)	年5回	教員相談員がテーマを考え、テーマについて語り合うイベント
	学内で友達の輪を広めよう (多摩)	年2回 (5月・10月)	友達作りの手助けをする交流会
	留年生同士で語りませんか? (多摩)	年1回(4月)	留年生同士で気兼ねなく語り合う場
	学生向けセミナー(多摩)	年2回	学生相談室専門相談員が学生向けにテーマを決め学ぶ場
体験型	農作業体験(多摩)	年1回(秋)	頭をからっぽにして土や草と触れ合ってみよう
	ストレッチとヨガでリフレッシュ (茗荷谷)	年1回(10月)	無理のないストレッチと呼吸法で心身ともにほぐす

※2024年度の実施イベントを基に掲載していますので、2025年度は変更する場合があります。

スポーツ・文化活動

【課外活動（サークル活動）】

中央大学の課外活動（サークル活動）は学生会公認部会（大学公認サークル）を始め、ボランティアセンター公認学生団体、キャンパスの大学祭を運営する学園祭実行委員会など、様々なサークル・学生団体に分かれて行われています。その他、有志のサークルを結成し、大学の公認を受けずに活動している学生や、司法試験・法科大学院、難関国家試験の合格を目指す学研連等研究室に所属する学生もいます。

【学生会公認部会とは】

200近くの公認部会が活動しています。団体の特性や歴史から連盟を組織しており、学術、文化、学芸、体育、体育同好会、理工、学友、国際情報、茗荷谷の9つの連盟が存在します。（2024年12月現在）

※公認部会の一覧はこちら→



(大学公式Web)

【学生会とは】

中央大学学生会は学生を正会員とする組織で、1911年に設立され、独自の規約をもって運営されています。その活動分野は学術、文化、体育など広範にわたりますが、それぞれ多くの部会（サークル）に分かれて活動が行われています。

【学生会の運営】

会長には学長があたり、総務部・監査部・学術連盟・文化連盟・学芸連盟・体育連盟・体育同好会連盟・学友連盟・理工連盟・国際情報連盟・茗荷谷連盟からなっています。学生会の健全、円滑な運営のための助言者として、連盟会長及び個々の部会の部会長（顧問）には、特別会員である教職員があたっています。その実質的運営は学生の自主性に任されています。

【部会の構成及び連盟の紹介】

公認部会

◎学術連盟

各専門分野で学術研究を追求するサークルの集まりでゼミナール・文筆活動等を通し中央大学の学術分野で指導的な役割を担うべく努力しています。

◎文化連盟

語学・報道・伝統文化・一般芸術・国際文化・一般文化の幅広い分野にわたり各サークルの自主的な活動を基盤として、中央大学の文化発展に貢献しています。

◎学芸連盟

狭い枠にとらわれない広い視野に立った学術・文化活動を繰り広げ、社会の発展に寄与しようとするサークルの集まりで、相互の親睦をはかるとともに、自主的な運営によって加盟部会の活動を保障しています。

◎体育連盟

球技系・格技系・記録系・その他体育部会で構成され、所属各部の活躍は、学内外において高く評価さ

れています。こうした各部を調整、リードすることにより、中央大学体育部の名声をより高めるために努力しています。

◎体育同好会連盟

'89年度に新しく創設された本連盟は、さまざまな種目の体育系サークルにより構成され、各サークルの種々のスポーツ活動、また連盟としての活動によって、中央大学のスポーツの発展に努めています。

◎学友連盟

学生自治という考え方に則って、学術・文化サークル活動を保障、発展させることをその活動の目的としています。

◎理工連盟

後楽園キャンパスで独自に活動を行っているサークルの集まりで、各部会の活動は学術・文化・体育の広い分野に及んでいます。

◎国際情報連盟

市ヶ谷田町キャンパスにおいて、国際情報学部部の部会活動の発展に寄与することを目的としています。

◎茗荷谷連盟

茗荷谷キャンパス、小石川キャンパスにおいて、法学部の部会活動の発展に寄与することを目的としています。

【学友会公認部会になるには？】

有志のサークルとして1年以上の活動実績があり、学友会準公認部会設立条件を満たすことで、準公認部会になるための申請を出すことができます。学友会準公認部会に加入し、9連盟の下で一定期間の活動を経た後、規約の定めに従って公認部会になるための申請ができます。詳しくは学友会事務局へ問い合わせてください。

なお、学生同士で有志のサークルを結成するにあたって、大学への届け出や手続きは必要ありません。

【学友会事務局の案内】

学友会諸活動に関して、多摩・市ヶ谷田町・茗荷谷キャンパスの活動や全般的なことは学友会事務局、後楽園キャンパスの活動は学友会事務局理工学部分室で取り扱っています。

取扱窓口	場 所
学友会事務局	多摩キャンパスCスクエア4階 (TEL : 042-674-4304 MAIL : gakuyu-grp@g.chuo-u.ac.jp)
学友会事務局理工学部分室	後楽園キャンパス1号館1階 (TEL : 03-3817-1670 MAIL : gakuyu-grp@g.chuo-u.ac.jp)

※学友会諸活動以外の課外活動については、各キャンパスの学生部事務室まで問い合わせてください。

キャリアセンターでは、なにができるの？

●「進路」や「就職」などに関する相談ができます

全スタッフが「進路・就職や将来のこと」などについての個人相談を行っています。就職活動の進め方がわからない、目標に向かって今何をしたらよいかわからないなど、相談したいことがある時は、ぜひ利用してください。

例えば、1・2年次での進路や将来に関する相談や、就職活動での書類添削・面接練習など、どんな内容でも構いません。

Web(Career Center net)からの事前予約

●情報収集ができます

進路・就職関係の本や、企業や公務員に関するデータを閲覧することができます。

インターンシップの情報や体験記、就職活動の体験記や卒業生名簿、自己啓発、業種・職種紹介、資格取得などに関する参考図書を数多く取り揃えています。

また、進路・就職支援システム (Career Center net) からも、企業からの求人票、企業説明会のスケジュール、先輩たちの就職活動体験記などを閲覧することができます。

Career Center net (進路・就職支援システム) はこちら



キャリアセンターでは、どんなプログラムを行っているの？

●低年次対象に、キャリア形成をサポートする多様なプログラムを実施しています

低年次対象の取組みとして、社会を広く知るための、業界研究セミナーや卒業生との交流会、自己の能力を高めるキャリア支援講座を用意しています。1・2年次対象の仕事体験プログラム (次世代リーダーズプログラム) では、「学修」と「社会での経験」を結びつけ、自ら考え行動できる力を養う機会を提供しています。社会と接点を持つ機会を多数取り揃え、キャリア形成支援プログラムを実施しています。

●主に3年次以上を対象に、就職活動をサポートする充実したプログラムを実施しています

民間企業・公務員など、多様な進路先を見据えたサポートを実施しています。2年次より就職ガイダンスを開催し、その時々に必要な情報の発信を行っています。また、人事の本音がパネルディスカッション、学内企業セミナーといった業界や職種、企業についての理解を図るセミナーや、エントリーシート対策、面接対策といった、採用選考に直結する実践的なセミナーも充実しています。また、公務員試験を目指す学生に向けた対策講座も幅広く行っています。

キャリアセンター (文系)に関する情報はこちら



キャリアセンター (理系)に関する情報はこちら



—自ら行動をおこし、「職業観を身につける」・「社会で必要な能力を高める」—

キャリアガイダンス

- 学生生活を通じて、将来を見通したキャリアデザインを描くサポートとして開催します。

自ら行動をおこし、積極的にキャリアセンターのプログラムを活用しよう!

社会で必要な能力を高める

- PBL (Project-Based Learning)

職業観を身につける

- 卒業生との交流会
- 次世代リーダーズプログラム

1年次

2年次

3年次

4年次

キャリアデザイン・プログラム

キャリアデザイン・インターンシップ等

就職活動サポート・プログラム

就職活動ロードマップ(文系)

内定

- インターンシップ準備セミナー
- 卒業生との交流会
- U・Iターンガイダンス
- グループディスカッション講座

第1回就職ガイダンス
【3月】
(2年生)

第2回就職ガイダンス
【9月】
(3年生)

第3回就職ガイダンス
【12~1月】
(3年生)

■ 面接力UPセミナー

- 就活準備セミナー
- 業界・職種研究セミナー
- 中大版公務研究セミナー
- 卒業生との交流会
- グループディスカッション講座
- 女子学生応援セミナー

※大学でのガイダンスやセミナー等については、キャリアセンターHPや学内掲示版、全学メール等で都度発信しますので、必ず確認してください。

学生宿泊補助制度



(大学公式Web)

学生部の学生宿泊補助制度は、本学学部学生の正課活動及び課外活動の支援を目的とし、宿泊を伴う活動（ゼミ合宿・サークル合宿等）に対し、宿泊費の一部を補助する制度となっています。

◎補助内容

対象：本学学部学生・教職員を対象に団体単位（個人単位不可）

※補助対象として認める活動・宿泊先は下記のとおり

金額：一人1泊あたり3,000円を補助します。

泊数：一人1回あたり3泊を限度とします。

回数：一団体あたり年度内2回（夏季休業期間1回、春季休業期間1回）を限度とします。

※補助対象として認める活動（国内の活動に限る）

- ・所属学部の授業（ゼミ合宿・調査等）に伴う正課活動
- ・FLP等の授業（ゼミ合宿・調査等）に伴う正課活動
- ・学友会所属部会（公認部会・準公認部会）の合宿（試合等の遠征は除く）
- ・ボランティアセンター公認団体の課外活動
- ・学術研究団体等の課外活動

※補助対象となる宿泊先

中央大学生生活協同組合で申込可能な宿泊先

◎問い合わせ窓口

制度について：学生生活課

宿泊施設・補助申請について：中央大学生生活協同組合

多摩（042-674-3048、MAIL：kokunai@coop.chuo-u.ac.jp）

後楽園・市ヶ谷田町（03-3814-5928、MAIL：rikoten.travel@gmail.com）

茗荷谷（03-5978-4184、MAIL：myogacoop@gmail.com）

オピニオン・カード

学生部は、大学と学部学生の皆さんとのパイプ役として一人ひとりの意見、考えそして提案を広く聞き、充実した大学を創るために「オピニオン・カード」を受け付けています。

投書されたオピニオン・カードは、学生部委員会において審議した後、学内各機関に回答を依頼します。なお、学生の氏名・学籍番号は一切公表されません。学生部関係者間においても匿名扱いをしています。過去に寄せられた意見と回答は一部大学公式Webサイトで公開しています。

◎対象

学部学生

◎投書方法

manaba（学生部からのお知らせ）にある、専用フォームから投書する。—————>



(manaba)

◎注意点

成績評価、学生同士の交流の呼びかけ、他の団体への批判、個人的な中傷等や無記名のものはオピニオン・カードとして取り扱いません。

◎個人情報の取り扱いについて

ご入力いただいた情報は、「中央大学個人情報保護方針」に則って、中央大学が明示する用途のみで使用し、個人の情報を適切に扱い、個人情報の保護に努めます。

その他の学生サポート

【キャリアサポート】

法職講座（法職事務室）

法学部・法科大学院と緊密に連携をとりながら、大学教員・弁護士・司法試験合格者などの協力を得て、法曹（裁判官・検察官・弁護士）を目指す学生に良質で安価な講座・プログラムを提供しています。



(大学公式Web)



(公式X)

公認会計士講座（経理研究所）

公認会計士試験合格を目指す学生を対象とした「公認会計士講座」や日商簿記検定の1級、2級、3級の取得を目指す「簿記会計講座」を開講しています。



(大学公式Web)

教職課程

本学で取得できる教育職員免許状の種類は中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許です。また、学部を卒業して大学院に進学し、専修免許状を取得することもできます。教職に関する窓口は、各学部事務室および教職事務室が担当しています。



(大学公式Web)

【国際連携・留学】

国際センター

長期の交換留学・認定留学や短期留学など、学生の希望に沿った留学をサポートしています。



(大学公式Web)

【ハラスメント対策】

ハラスメント防止啓発支援室

中央大学はハラスメント防止啓発に取り組んでいます。個人の尊厳を尊重しハラスメントのない快適な教育、研究、就業環境を作ります。



(大学公式Web)

【健康】

保健センター

学生が勉強および文化・スポーツの諸活動に邁進できるよう、健康の保持増進のサポートや日常の怪我や病気の診療を行っています。



(大学公式Web)

緊急時の対応

いつ、どこで起こるか分からない災害に対しては、日頃からの準備が大切です。災害時でも慌てずに行動できるようにしておきましょう。

日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(学校付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待合せ場所の確認
- 災害伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認(災害時徒歩 約2.5km/h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認(学校および通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 学校および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現金(小銭も) | <input type="checkbox"/> 学生証(免許証なども) |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> アドレス帳 |
| <input type="checkbox"/> タオル・ぼんそうこう・包帯 | (家族、友人の連絡先を記入) |
| <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト | <input type="checkbox"/> 雨具(カッパなど) |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 携帯充電用USBケーブル |
| <input type="checkbox"/> チョコレート・あめなど | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋 |
| | <input type="checkbox"/> 油性マジックペン |

その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> 印鑑 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | <input type="checkbox"/> リュック |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> ひも・ロープ | <input type="checkbox"/> ろうそく |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き |
| <input type="checkbox"/> スリッパ | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> 非常用食料・水 |

memo

大学への連絡方法

落ち着いたら大学へ安否を知らせる

- 大地震が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。
- 地震発生後、大学からメールが送信されますので、メール内容の指示に従い、返信してください。
- 送信するアドレスは、学生ポータルサイト(C plus等)へ登録されているアドレスとなります。携帯電話でメールを確認できるようにしておいてください。
- またメールのフィルタリング機能を利用している場合は「~@g.chuo-u.ac.jp」からのメールを受信できるようにしておいてください。
- 万が一の際、大学からの重要な情報が受信できるよう、登録アドレスは有効なものに必ず変更してください。



八ガキによる報告 ※上記による連絡ができない場合

大学住所：〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
中央大学 安否確認係 宛
※電話での報告は極力控えてください。

報告事項

大学へ報告すべき事項は以下の通りです。

- ①氏名
- ②学籍番号・所属学部
- ③携帯電話番号
- ④本人・家族の状況
- ⑤自宅や避難場所付近の状況
- ⑥避難している場合は避難先の住所、連絡先等
- ⑦その他(困っていることなど)

家族への連絡方法

171 ダイヤル 災害用伝言ダイヤルで安否確認!

伝言を録音する⇒171+1+電話番号(市外局番から)
伝言を再生する⇒171+2+電話番号(市外局番から)
メッセージ登録内容：音声

※災害用伝言ダイヤルは震度4以上の地震が発生した場合に利用できるようになります。

知っておこう 伝言ダイヤルのしくみ

- ◎ 被災地(名古屋)のAさんが伝言を録音し、福岡のBさんが伝言を再生する例。
- ◎ 災害により混雑する名古屋～福岡の回線を利用しません。

Aさん(被災地:名古屋)

各電話機から、災害用伝言ダイヤルで
自宅の電話番号をキーに、伝言を録音。
例) 171+1+052+123+4567
(Aさん自宅電話番号)

Bさん(福岡)

被災者Aさん宅の電話番号を
キーに、伝言を再生する。
例) 171+2+052+123+4567
(Aさん自宅電話番号)

携帯電話 事前の登録が必要ですよ!

携帯各社「災害用伝言板」※事前にテストしてください。

大規模災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言板サービス。あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言版に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供される。また、インターネットからも安否情報の確認が可能。



NTTドコモ



au/KDDI



ソフトバンク



ワイモバイル

避難

キャンパス滞在中に災害その他緊急の事態が発生した場合は、次のように行動してください。

(1)緊急事態が発生した場合は、すべて大学から緊急放送でお知らせしますので、指示に従って冷静に行動してください。

(2)大地震の際の行動マニュアル

I. 大地震が起きた場合の基本行動

- 地震の主震動は1分～2分程度であるため、落ち着いて行動する。
- 余震があることも頭に入れておく。
- 机の下にもぐる、衣類・持ち物等で頭を覆う等、落下物（黒板・モニター・蛍光灯等）や転倒物から身を守る。
- ドア付近の人はドアを開け、出口を確保する。

II. 避難する場合の基本行動

【屋内から屋外への避難】

- ① 出口に殺到しないで落ち着いて避難する。
- ② 身体障害者や負傷者がいる場合は、周りの学生とサポートをする。
- ③ 停電した場合、誘導灯を目印に避難する。
- ④ 避難には、必ず階段を使用する（エレベーターは絶対に使用しない）。
- ⑤ ドアを開けたまま避難する。ただし、火災が発生し消火不能の場合はドアを閉めて避難する。
- ⑥ 煙が発生したら煙を吸わないよう、ハンカチ等を口と鼻にあて、姿勢を低くして避難する。

【屋外から避難場所への避難】

- ① 衣類や持ち物を頭を覆い、落下物から身を守る。
- ② 窓ガラス・外壁・看板等の落下物に注意する。
- ③ 地面の亀裂や陥没、隆起に注意する。

【多摩キャンパス】

避難場所	号館・棟
桜広場	1号館、2号館、中央図書館、8号館～11号館、ヒルトップ78
ラグビー場	3号館、4号館、第1体育館、サークル棟別棟(1)、弓道場、馬場、グリーンテラス、Cスクエア、グローバル館、FOREST GATEWAY CHUO、国際教育寮
陸上競技場	5～7号館、第2体育館、サークル棟別棟(2)(3)、炎の塔

【後樂園キャンパス】

一時避難場所	6号館北側広場
--------	---------

【市ヶ谷田町キャンパス】

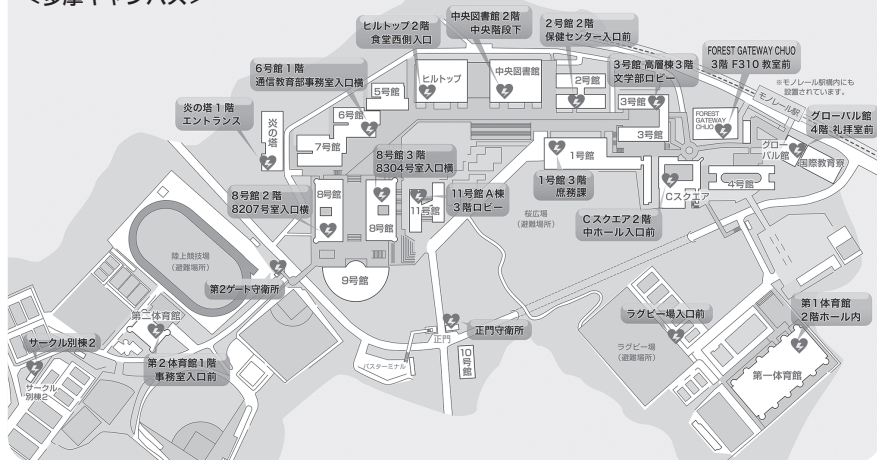
一時集合場所	1階エントランスホール
--------	-------------

【茗荷谷キャンパス】

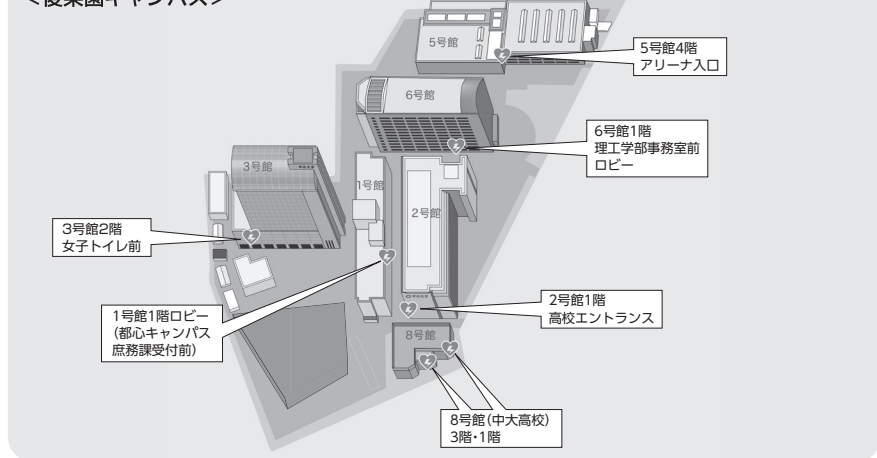
一時待機場所	地震等の災害により停電が発生し、帰宅困難なケース 1階：エントランスホール・茗荷谷スチューデントハブ B1階：学生食堂・購買 ※緊急放送でお知らせしますので、その指示に従ってください。
--------	---

P.38～42、P.46のキャンパス地図とあわせて確認してください。

<多摩キャンパス>



<後樂園キャンパス>



AEDは、突然の心肺停止者に対し、心臓への除細動（電気ショック）を自動で行うことができる機器のことです。AEDは小型軽量で携帯にも支障がなく、操作も非常に簡単です。電源ボタンを押すと（または、ふたを開けると）電源がONになり、以降は全て音声で使用方法を指示してくれます。また、除細動が必要ない場合には、ショックボタンを押しても通電されないなど、安全に使用できるように設計されています。

多摩キャンパスには19ヶ所、後樂園キャンパスには7ヶ所、茗荷谷キャンパスに4ヶ所、市ヶ谷田町キャンパスには1ヶ所、小石川キャンパスには1ヶ所設置されています。

心肺蘇生の手順

*新型コロナウイルス感染症の
流行を踏まえた傷病者対応

傷病者の発生

早期認識と通報

周囲の安全確認

意識の確認

軽く肩を叩きながら声をかける

*傷病者の顔と救助者の顔が、
あまり近づきすぎないようにする

反応なし、または判断に迷う場合

大声で周囲に助けを求める

119番通報依頼・
AED依頼

通信指令員の
指導に従う

心肺蘇生とAED

呼吸の確認

10秒以内で確認する

普段どおりの
呼吸あり

様子を見ながら
応援・救急隊を待つ

普段どおりの呼吸なし、
または判断に迷う場合

*傷病者の顔と救助者の顔が、
あまり近づきすぎないようにする

*30回の
胸骨圧迫

*子どもに対しては、人工呼吸の技術と
意思があれば、2回の人工呼吸も組み合わせる

*ハンカチやタオルなどがあれば、傷病者の
鼻と口にかぶせる
マスクや衣服などで代用可

AED装着

電源を入れ、電極/パッドを胸に貼る

心電図解析

電気ショックは必要か?
(AEDが判断)

必要なし

ただちに
胸骨圧迫を再開

必要あり

電気ショック
ショック後ただちに
胸骨圧迫を再開

※胸骨圧迫は、強く・早く・絶え間なく。救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に
普段どおりの呼吸や目的のある仕草が認められるまで続ける。

※救急隊に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。
傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れないようにして
廃棄することが望ましい。